

令和6年2月29日、市議会の  
本会議にて、以下の内容で  
一般質問させていただきました。

## ①スポーツ振興について

1. こどもや高齢者へのスポーツ支援等について
2. 全国大会・国際大会誘致強化等について
3. 北九州市立高等学校でのスポーツ強化等について

## ②災害時の避難場所について

- ・宿泊施設との連携等について

## ③稼ぐ農林水産業について

1. ブランド農林水産物のリブランド等について
2. 若松北海岸の自然を活かした体験型・滞在型観光促進について

いづれの質問に対しても大変良い  
答弁を頂きましたが、今回は

③-2についてお伝えします。

農林水産物の魅力を活用した滞在型  
観光に関して、本市が抱く理想形はど  
のようにお考えなのかを質問しました。  
答弁は以下です。

# 若松北海岸の活性化を更に進めていきます!

昨年4月に策定いたしました北九州市観光振興プランでは、小倉城や門司港レトロなどの人気スポットに加えまして、若松北海岸などの自然景観の魅力を改めて見つめ直し、野菜や果物の収穫体験の漁業体験などを観光資源として、生かすことを決めました。

雄大な自然、景観や新鮮な農林水産物に恵まれた地区の多くは、市街化調整区域による規制によって開発が抑制され、新たな観光施設の設置が難しい現状でございます。

そこで若松北海岸エリアを手始めに、土地利用制限を緩和する新しい手法を取り入れた事業を実施する計画でございます。開発許可制度に関する調整が終わり次第、観光施設などの開発を希望する民間事業者の募集を行うこととしており、関係予算を計上しているところでございます。

このように今回の規制緩和を通じてまずは若松北普段エリアにおきまして、民間事業者の創意工夫によるレストランやカフェなどの観光施設などの開発を後押しすることとしております。こうして新たに生み出された魅力と既存のグランピング施設や宿泊施設などと、しっかりと連携し、体験型滞在型観光作りを力強く進めてまいりたいと考えております。

③-1について以下のような提案をしました。

農林水産物について、実際に本当に良いものをがあるのだが、市場に出すとそこで価格が決まっており、なかなか収益には上がらないという現場の声があります。

そこで私が提案することは、市長が現場と一緒に赴いていただき、その商品を手にとって食していただいてトップセールスでPRしていただければ確実に価値が上がると思っています。

## 市長の答弁

私も体いくつあっても足りないぐらいですけども、できる限り可能な限り、現場で見させていただいてお話をさせていただいて、可能であればトップセールスを行ってまいります。

